



No.2819

2016-2017年度

会長 松村 秀一

幹事 橋爪 誠治

R広報委員長 上野山栄作



担当：中村委員

第2640地区
 例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 事務所 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

Rotary



～有田ロータリークラブ目標～

親睦を深め

ロータリーライフを楽しもう



本日のプログラム

平成29年3月16日 第2820回

- ・外部卓話：淵田 幸宏 氏（和歌山県警察本部）
「サイバーセキュリティー対策の強化を」
- ・ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

平成29年3月23日 第2821回

- ・後期IDMの発表
リーダー：嶋田崇君・上野山栄作君
- ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第2819例会）

開催日 平成29年3月9日（木）

点鐘 （松村会長）

ゲストの紹介 （川口親睦活動委員）

ゲスト：向後 周一 様（有田市役所地方創生推進監）
董 涛 君（米山奨学生）

米山奨学金授与



3月の米山奨学金が松村会長より董涛君へ授与されました。

会長の時間 （松村会長）

2月23日の夜間例会で公演して頂きました鈴木宏PDGに橘家さんから清美を送っていただきました。丁寧な御礼のメールをいただきました。また、先週末私の方に、苺が届きました。「とちひめ」「ロイヤルクィーン」という名前でした。完熟の食べ頃でべっぴんさんでした。今日の例会に持ってきてみんなに食べていただいたら良かったのですが、今日まで日持ちしない様子でした。結局私一人で食べさせていただきました。大粒で真っ赤な苺でした。葉っぱをちぎって頬張りますと全体が甘い苺です。また、へたの部分がほとんど有りません。今まで食べたことのない美味しい苺でした。

幹事報告

（橋爪（誠）幹事）

○地区より

1. ガバナーノミニー被推薦者受理通知が届きました。
推薦クラブ：堺東ロータリークラブ
ガバナーノミニー候補者：中野 均さん
2. ローターアクト第35回地区年次大会仮登録の案内
3. ローターアクト青少年交流会開催の案内
4. 米山記念奨学終了式・歓送迎会の二次会の案内

○掲示物紹介

1. 田辺東ロータリークラブ週報（1月・2月分）
2. 他クラブ例会変更

ロータリー友誌

（中村R広報委員）

ロータリーの友誌3月号

☆横組み

- ・3P:「RI会長メッセージ」多様性が私たちの強み
- ・6P:ロータリーとは
- ・7～13P:過去から今、そして未来へ ローターアクター
- ・14～17P:水と衛生 スリランカの子どもたちに清潔な飲料水を
- ・18～22P:心は共に 写真家 Allison Kwesell氏
- ・23P:衛星クラブ
- ・32～35P:RI指定記事 イアン・ライズリーRI会長エレクトインタビュー

☆縦組み

- ・4～8P:地方創生～ひと・まち・しごと 倉敷芸術科学大学客員教授 濱家輝雄 氏
- ・28P:ロータリーアットワーク 秋の写生会 堺RC

委員会報告

* 情報・研修委員会(應地委員長)

「後期IDMについて」第1班3月15日午後6時30分から、第2班3月16日午後6時30分から、いずれも橘家です。テーマはファックスで通知済みです。変更等のある会員はリーダーに速やかに連絡をお願いします。

* 国際奉仕委員会(橋本委員長)

今年アトランタで開催予定の世界大会ですが、皆様に欠席の確認をしたところ全員不参加となりました。

* 米山奨学生カウンセラー(橋本カウンセラー)

董涛君の1年を振り返った報告「奨学生レポート」と「カウンセラー所見」を後ろに掲示しました。

* ローターリー財団委員会(中元委員長)

松村会長より特別寄付をいただきました。

* 米山奨学委員会(嶋田(ひ)副委員長)

松村さんより特別寄付をいただきました。

* 次年度国際奉仕委員会(次年度成川(雅)委員長)

「クラブ青少年交換委員長会議」(3/5(日))の報告。
議案:①長期&短期交換留学のサイクル(年間の流れ)
②長期&短期交換学生の世話(予算・クラブの対応)の説明
③青少年交換留学体験談

出席報告 (嶋田(ひ)例会運営委員)

本日の会員数26名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数21名
(出席規定免除会員6名)
87. 50%
2/23 88. 00%
MU:上野山(栄)君

ニコニコ箱の報告 (中村SAA代理)

松村君: 向後様、有田RCへお越し下さいましてありがとうございます。卓話楽しみにしています。
橋爪(誠)君: 向後様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願いいたします。
川口君: 向後周一様、本日の卓話、宜しくお話し致します。
橋爪(正)君: 向後周一様、お忙しい中卓話にお越し下さり誠にありがとうございます。
上野山(捷)君: 本日欠席します。中村先生にお世話になります。
江川君: 向後様、有田市のこれからの関わって来るとお思いますので、真剣に聞かせていただきます。よろしくお願いいたします。
上野山(栄)君: 向後様、ようこそ有田RCへお越し下さい

ました。

中元君: 向後周一様、本日の卓話よろしくお願い致します。

嶋田(ひ)君: 向後様、今日のお話楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

橋本君: 向後周一様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願い致します。應地先生、本日の訪問、よろしくお願いいたします。

酒井君: 向後様、本日の卓話どうぞよろしくお願い致します。3日の人事異動、自分はありませんでしたので、今後ともよろしくお願い致します。

児島君: 向後周一様、本日の卓話ご苦労さまです。楽しみです。

中村君: 向後様、ようこそ有田RCへ。卓話よろしくお願い致します。

卓話

「有田市の地方創生」



有田市役所
地方創生推進監

向後 周一 様

日本全体が少子高齢化・人口減少に進んでおり、とりわけ地方都市の活性化は「待った無し」の状況です。有田市は「自然減」「社会減」ともに減少しており、毎年300人から400人が減少し、社人研のデータでは2040年に人口は2万人程度になると推計されています。

こうした背景のなか、政府が進める『地方創生人材支援制度』により、私は平成28年4月より民間企業のダイエーから有田市に派遣されました。

有田市の地方創生の取組として、以下の3点を重点的に行っています。

ひとつは観光資源の磨き上げによる地域の活性化です。特に、矢櫃地区や山本屋敷などを中心に活性化を進めています。もうひとつは有田市を元気にしたい、と考える人のサポートです。地域愛を醸成するため、子ども達や地域コミュニティへの働きかけなどを積極的に行っています。さらに、ふるさと納税など販路開拓を通じた商業の発展も並行して進めています。

市内には「有田市を元気にしたい」と考えている人がたくさんいます。こうした思いを紡ぎ合わせ、点から線、線から面とし、大きな流れが生まれるよう全力でサポートして参ります。是非、この有田ロータリークラブの皆様のお力を借りて、この流れが強固なものになることを願っております。

実施事項

・『矢櫃(市内随一の過疎地区)活性化』

- ・和歌山大学のインターンシップを活用し、コミュニティデザインによる活性化。
- ・全軒(約60軒)訪問し、地区の魅力や課題をヒアリング。伝統行事“裸参り”を復活。
- ・空き家を改修し、移住促進・交流人口増に向けた拠点を整備。

・『山本屋敷(武家屋敷)の観光拠点化』

- ・江戸時代後期の建造物。
- ・紀州徳川家御用達の武家屋敷
- ・古民家再生(アレックス・カー氏、NOTE 等)プランを現在検討中。
- ・地元住民とのワークショップを開催
※パネルディスカッションにおけるファシリテーター

・『地域資源の活用』

- ・「有田みかん海道」の認知度アップ
※天体観測イベントの実施。カノーバス
- ・無人島(地ノ島、沖ノ島)の活性化
- ・箕島漁港への直売所・レストラン設置などの活性化プランの策定。
※有田市“5つ星プロジェクト”を推進する“プロデュース会議”の運営。

・『先進地視察、外を見る目』

- ・地域コミュニティや古民家再生の先進地に市長や若手職員を連れ出す。
(徳島県、奈良県、静岡県、神奈川県など)
- ・地方創生カレッジ、JIAMなどの活用促進
- ・毎日、気になる記事をピックアップして庁内にて情報共有。

・『有田市の未来を語る会 2050』

- ・有田市観光協会の一部会。
- ・総合コーディネーター役を担当
- ・『農業』『夕陽』『史蹟』などのテーマごとに若手の自由な意見を組み入れて、目に見える未来予想図を描こう、というもの。

・『たっちよほねく食べよら会』

- ・市を代表するB級グルメ『たっちよほねく』を市内外に広める。
- ・9月から理事を拝命
- ・市内小中学校の給食に採用して貰う。
- ・“ふるさと祭り”にてレシピコンテストを実施。

・『意識の高い団体へのサポート活動』

- ・有田市同友会やコミュニティカの高い地区での講演。
※講演後、自分たちのまちをSWOT分析をし、俯瞰的に見つけて貰う。
- ・『わいがや娘の会』の商品開発サポート。

・『箕島高校との連携強化』

- ・RESASの活用を依頼。授業にて講演。
→政策立案コンテストに参加。
- ・管外からの学生の環境整備
- ・校歌をJRの駅の呼び出しサインにする。
- ・まちづくり係との定期交流

・『ふるさと納税(応援寄附)による
地域振興』

- ・平成27年度は県内一の寄附額
※楽天『Shop of the Year 2016』ふるさと納税賞
- ・返礼品のブラッシュアップに取り組む。
“雑柑類”、“しらすとワインのコラボ”、“生魚”等観光協会に“コト、体験型”商品の検討依頼
- ・単なる寄附だけでなく有田市ファン作りに繋げる。

・『働き方改革・意識改革』

- ・市役所の管理職、職員への意識改革を促す講演
- ・定期採用試験方法の変更、人事評価制度、組織体制、労働時間管理に向けてのアドバイス
- ・『有田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗確認会議』の設置による、PDCAサイクルの実行。
- ・“縦割り意識”の壁を壊す、マーケティング思想の導入、数値に基づく分析(RESASの活用)

・『イオングループによる販路開拓』

- ・近畿イオン会見本市にて「有田市」ブースを特設
- ・イオンモール和歌山と連携し、愛媛との“究極のみかん対決”イベントを開催
- ・“和歌山フェア”に積極参戦

・『その他』(平成29年度)

- ・みかんを中心とした農業の変革に向けて、企業の地方創生プロジェクトと連携。
- ・『大日本除虫菊』とのコラボによる地域おこし
- ・公共施設、公共交通機関(コンパクトシティ構想)
- ・イオン『地域エコシステム』との連携